



## 今年も素晴らしい一年になりますように

校長 加藤 憲司

明けましておめでとうございます。

保護者、地域の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。今年は一十の「乙(きのと)」と十二支の「巳(み)」が組み合わさった「乙巳(きのと・み)」です。乙(きのと)は、十の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味があります。また、巳(み・へび)は、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともいわれています。そのことから、乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるといわれています。足立小学校の子供たちにとって、失敗を恐れず、様々なことに挑戦し、友達と協力しながら発展していく年になることを期待しています。

### 「期待の登校・満足の下校」の実現に向けて

さて、令和6年4月に足立小学校に着任して以来、もうすぐ1年が過ぎようとしています。着任から学校ホームページの「学校日記」に学校の様子を写真と一緒に紹介し、多くの方がアクセスしている数を見ると、保護者や地域の皆様が学校に多くの関心や期待を寄せていただいていることを感じます。ご家庭において、今日の給食のメニューや学校の様子などを基に、「明日の給食は〇〇だね。」「〇〇の行事ではどんなことをがんばったの?」など、お子さんと話す機会をもち、「期待の登校」につながるよう、「明日も学校、楽しみだね」と送り出していただければ幸いです。学校は、「満足の登校」を実現すべく、変わらず努力してまいります。

### 学習発表会を終えて

12月14日(土)に実施した「学習発表会」では、多くの保護者、地域の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。各学年、ひまわり学級の子供たちが、日頃の学習で学んだことを効果的に表現するために、様々な工夫を重ねて発表しました。

さて、「発表」は学校において、友達同士でペアやグループなど、授業の中で日常的に行われていますが、どのような効果があるのかについて紹介します。

1960年代初頭にアメリカ国立訓練研究所(National Training Laboratories Institute)の研究によって導き出された概念に「ラーニングピラミッド」があります。この図は、学習方法ごとにどれくらい学習として定着するかを表したピラミッド型の図のことを言います。この図から、講義や読書などの受動的な学習方法は、学習定着率が低く、討論や体験など能動的な学習方法は、学習定着率が高いことがわかります。子供たちは、学習発表会を通じて、「他人に教える・伝える」を経験したことで、学んだことをより深く理解し、定着できたのではないかと思います。

また、今回の学習発表会のように多くの人前で発表することは、自分の考えを整理し、明確に伝える力を身に付けることや、緊張やプレッシャーに耐える力を身に付けること、話すことに慣れ、自信を付けることができるなど様々な利点があります。今後も、様々な学習場面で表現したり、発表したりする場を設けていきます。



図 ラーニングピラミッド